

令和5年度病害虫発生予察注意報第8号

令和5年8月18日
愛知 県

作物名：キャベツ、ダイズ
病害虫名：シロイチモジヨトウ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 多い
- 3 注意報発表の根拠

(1) フェロモントラップの7月第1半旬から8月第2半旬までの総誘殺数(図1)

- ・長久手市(露地畑ほ場) 136頭(平年35.9頭、前年48頭) 過去10年間と比較して最も多い。
- ・田原市(キャベツほ場) 1,320頭(過去4年平均770.8頭、前年1,098頭) 過去4年間と比較して最も多い。
- ・豊橋市(キャベツほ場) 1,007頭(平年842.4頭、前年1427頭) 過去10年間と比較して4番目の誘殺数だが、8月第3半旬の誘殺数は過去10年で最も多い。
- ・西尾市(ダイズほ場) でも690頭(過去4年平均270.8頭、前年314頭) 過去4年間と比較して最も多い。

(2) 8月17日名古屋地方气象台発表の1か月予報

向こう1か月の気温は、高いと予想されており、本虫の発生に好適な条件である。

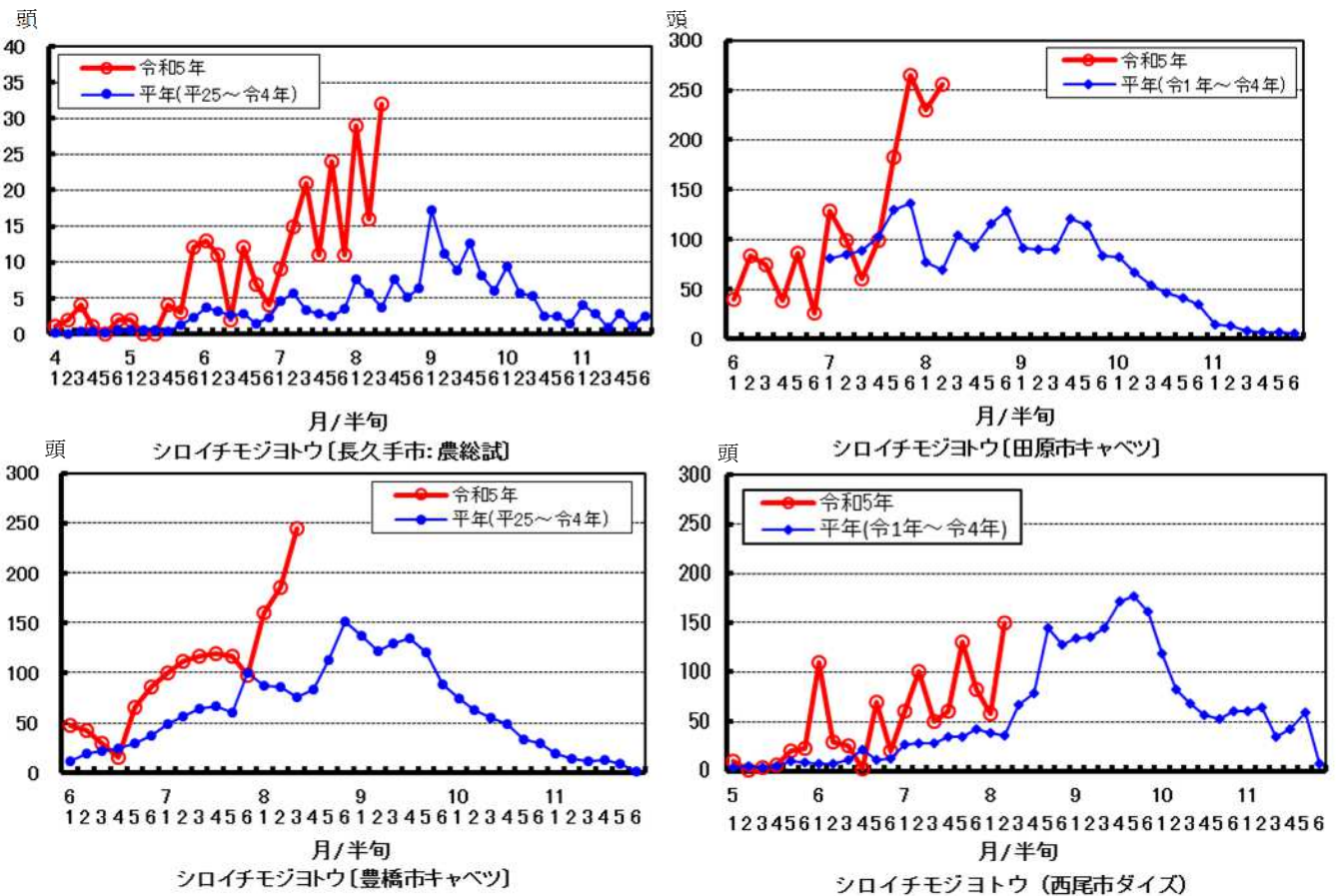


図1 フェロモントラップにおけるシロイチモジヨトウの誘殺数

4 形態及び発生生態

成虫は暗灰褐色、体長約 12mm の蛾で、前翅の中央部に黄褐色の円形斑紋がある（図 2）。卵は黄褐色、約 0.5mm のまんじゅう型、卵塊で産卵され、表面は灰褐色の毛で覆われる。幼虫の体色は多様で、緑色から黒紺色まで個体差が大きい。老齢幼虫になると、腹部の側面の線が白く明瞭になり、気門線の腹縁部が桃色を呈し、体長約 30mm となる（図 3）。

ふ化後しばらくは集団で生息し、齢が進むにつれて次第に分散する。成虫は 4 月から 11 月頃に、年 4～5 回発生する。非常に広食性で、キャベツのほか、ハクサイ、ダイコン、ネギ、ホウレンソウ、ダイズなど、50 種以上の野菜類や花き類におよぶ。

近年、本県でも本虫によるダイズへの加害がみられるようになった。



図 2 成虫



図 3 老齢幼虫

5 防除上注意すべき事項

- (1) 幼虫の寄生を確認したら、表を参考に速やかに防除する。
- (2) 齢の進んだ幼虫には薬剤効果が低下するため、若齢幼虫のうちに薬剤防除する。
- (3) 本虫は寄生範囲が広く、ほ場周辺の雑草は増殖源になるため除去する。

表 シロイチモジヨトウに対する主な防除薬剤

作物名	薬剤名	成分名	使用時期	本剤の使用回数	IRAC
キャベツ	アニキ乳剤	レピメクチン	収穫 3 日前まで	3 回以内	6
	コテツフロアブル	クロルフェナピル	収穫前日まで	2 回以内	13
	ヨーバルフロアブル	テトラニプロール	収穫前日まで	3 回以内	28
	ベネビア OD	シアントラニプロール	収穫前日まで	3 回以内	28
	グレーシア乳剤	フルキサメタミド	収穫 7 日前まで	2 回以内	30
だいず	プレオフロアブル	ピリダリル	収穫 7 日前まで	2 回以内	UN

IRAC コードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRAC コードの詳細は、https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/mechanism_irac03.pdf を参照する。

薬剤散布の際は、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

6 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室

電話 0561-62-0085 内線 471